

## 第九章 大会資産の活用

### 1. 基本的な考え方

- ・ 東京 2020 大会は、大会ビジョンとして「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」を掲げ、史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会を目指して開催されました。一過性のイベントではなく、大会後にレガシーが残るような広がりのある大会にするべく、取り組んできました。
- ・ オリンピック競技大会では、史上最多の 33 競技が 42 の競技会場で、パラリンピック競技大会では 22 競技が 21 の会場で実施されました。競技会場には、1964 年東京大会でも使用された既存会場、新たに建設された新規恒久会場、大会時の使用を目的として設置された仮設会場があり、大会終了後も、様々な競技大会、イベント等での活用が検討されています。
- ・ また、レガシーを継承、発展させる手段の 1 つとして、オリンピック・パラリンピックプロパティを活用したスペクタキュラーや銘板等の様々な有形レガシーの設置が進められています。こうした展示物は、IOC や IPC によって承認されることで、レガシーとして残すことができます。これら有形レガシーは、開催都市及び関係自治体等によって制作され、大会のストーリーが後世に継承されます。
- ・ そのほか、大会の歴史的・社会的意義を未来に伝えるため、大会の開催・運営等のため作成・受領された資産から選定・特定したものを「東京 2020 アーカイブ資産」として国内に承継していきます。アーカイブとした資産は、国内アーカイブ組織である JOC を中心に、東京 2020 大会終了後も国内で保存・管理・利活用されます。

### 2. 競技会場

#### (1) 競技が開催された都道府県

##### 開催都市

- ・ 東京都

##### 関係自治体

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ・ 北海道  | ・ 宮城県 | ・ 福島県 |
| ・ 茨城県  | ・ 埼玉県 | ・ 千葉県 |
| ・ 神奈川県 | ・ 山梨県 | ・ 静岡県 |

(2) 競技会場

オリンピック・パラリンピック競技会場配置図

(オリンピック競技会場：2019年12月現在／パラリンピック競技会場：2019年4月現在)



ヘリテッジゾーン

□ … オリンピック競技 ▲ … パラリンピック競技

- |  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|
| <p><b>1</b> オリンピックスタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 開会式・閉会式、陸上競技</li> <li>□ サッカー</li> </ul> | <p><b>2</b> 東京体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 卓球</li> </ul>                              | <p><b>3</b> 国立代々木競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ハンドボール</li> <li>▲ バドミントン、車いすラグビー</li> </ul>         | <p><b>4</b> 日本武道館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 柔道</li> <li>□ 空手</li> </ul> | <p><b>5</b> 東京国際フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ウエイトリフティング</li> <li>▲ パワーリフティング</li> </ul> |
| <p><b>6</b> 国技館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ボクシング</li> </ul>                                | <p><b>7</b> 馬事公苑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 馬術(馬場馬術、総合馬術、障害馬術)</li> <li>▲ 馬術</li> </ul> | <p><b>8</b> 武蔵野の森総合スポーツプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ バドミントン、近代五種</li> <li>▲ 車いすバスケットボール</li> </ul> | <p><b>9</b> 東京スタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー、ラグビー、近代五種</li> </ul> | <p><b>10</b> 武蔵野の森公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自転車競技(ロード)</li> </ul>                       |

東京ベイゾーン

- |   |  |   |  |   |
|---|--|---|--|---|
| <p><b>11</b> 有明アリーナ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ バレーボール(バレーボール)</li> <li>▲ 車いすバスケットボール</li> </ul> | <p><b>12</b> 有明体操競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 体操</li> <li>▲ ボッチャ</li> </ul>                                | <p><b>13</b> 有明アーバンスポーツパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自転車競技(BMXフリースタイル、BMXレーシング)、スケートボード</li> </ul>     | <p><b>14</b> 有明テニスの森</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ テニス</li> <li>▲ 車いすテニス</li> </ul>     | <p><b>15</b> お台場海浜公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ トライアスロン</li> <li>□ 水泳(マラソンスイミング)</li> </ul>       |
| <p><b>16</b> 潮風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ バレーボール(ビーチバレーボール)</li> </ul>                       | <p><b>17</b> 青海アーバンスポーツパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 3x3 バasketボール、スポーツクライミング</li> <li>▲ 5人制サッカー</li> </ul> | <p><b>18</b> 大井ホッケー競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ホッケー</li> </ul>                                       | <p><b>19</b> 海の森クロスカントリーコース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 馬術(総合馬術(クロスカントリー))</li> </ul> | <p><b>20</b> 海の森水上競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ カヌー(スプリント)、ボート</li> <li>▲ カヌー、ボート</li> </ul>     |
| <p><b>21</b> カヌー・スラロームセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ カヌー(スラローム)</li> </ul>                     | <p><b>22</b> 夢の島公園アーチェリー場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ アーチェリー</li> </ul>                                       | <p><b>23</b> 東京アクアティクスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 水泳(競泳、飛込、アーティスティックスイミング)</li> <li>▲ 水泳</li> </ul> | <p><b>24</b> 東京辰巳国際水泳場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 水泳(水球)</li> </ul>                  | <p><b>26</b> 幕張メッセ Aホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ テコンドー、レスリング</li> <li>▲ シットイングバレーボール</li> </ul> |
| <p><b>27</b> 幕張メッセ Bホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ フェンシング</li> <li>▲ テコンドー、車いすフェンシング</li> </ul> | <p><b>28</b> 幕張メッセ Cホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ ゴルフボール</li> </ul>   |   |  |   |

その他

- |   |   |  |   |  |
|---|---|--|---|--|
| <p><b>25</b> 札幌大通公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 陸上競技(マラソン、競歩)</li> </ul> | <p><b>29</b> 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サーフィン</li> </ul>  | <p><b>30</b> さいたまスーパーアリーナ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ バスケボール(バスケットボール)</li> </ul> | <p><b>31</b> 陸上自衛隊朝霞訓練場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 射撃</li> </ul>        | <p><b>32</b> 霞ヶ関カントリー倶楽部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ゴルフ</li> </ul>   |
| <p><b>33</b> 江の島ヨットハーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ セーリング</li> </ul>     | <p><b>34</b> 伊豆ベロドローム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自転車競技(トラック)</li> </ul> | <p><b>35</b> 伊豆MTBコース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自転車競技(マウンテンバイク)</li> </ul>      | <p><b>36</b> 富士スピードウェイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自転車競技(ロード)</li> </ul> | <p><b>37</b> 福島あづま球場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 野球・ソフトボール</li> </ul> |
| <p><b>38</b> 横浜スタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 野球・ソフトボール</li> </ul>    | <p><b>39</b> 札幌ドーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー</li> </ul>           | <p><b>40</b> 宮城スタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー</li> </ul>                  | <p><b>41</b> 茨城カシマスタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー</li> </ul>      | <p><b>42</b> 埼玉スタジアム2002</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー</li> </ul>  |
| <p><b>43</b> 横浜国際総合競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サッカー</li> </ul>       |   |  |   |  |

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※会場名は、大会時の名称です。

### (3) 新規に建設された施設の活用

#### 1) 国立競技場

国立競技場は、1964年大会のメインスタジアムとして、数多くの記憶に残る大会の舞台となりました。東京2020大会に向けて改修を行うこととなり、2016年12月に着工し、2019年11月に完成しました。新しい国立競技場は、東京2020大会ではメイン会場となるオリンピックスタジアムとして使用され、開・閉会式と陸上競技が行われました。

大会後は、東京2020組織委員会による原状回復工事が行われ、2022年4月より一般利用を開始します。国立競技場は、日本におけるスポーツ振興の中核拠点として、サッカーやラグビー等の国際大会や全国大会の決勝戦が開催される予定であり、トップアスリートの活躍の場とするとともに、広く国民がトップレベルスポーツに触れ、スポーツへの関心を高める機会を提供していきます。また、東京2020大会における開・閉会式の感動やオリンピック・パラリンピアンによって刻まれた記録・記憶を風化させないように、聖火台や優勝者銘板等を適切に保存・展示し、レガシーの継承に貢献していきます。

さらに、国立競技場は運営管理を民間事業化する予定であり、民間事業者のノウハウと創意工夫を最大限に活用し、日々人々が集まり、長く愛されるスタジアムになるよう、検討を進めていきます。



※提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

#### 2) 東京都の新規恒久施設

開催都市である東京都は、東京2020大会に向けて、新たに6つの競技会場を整備しました。大会後も東京2020大会のレガシーとして、多くの都民に利用され、親しまれる施設となります。

そのために、都は、外部有識者等の意見を幅広く聴きながら、2017年に大会後



の施設運営の指針となる「新規恒久施設の施設運営計画」を策定するとともに、2018年度には各施設の管理運営者等を決定して、大会前の早いうちから民間事業者のノウハウと創意工夫を最大限に活用して、大会後の利用に円滑に移行する体制を整えてきました。

各施設管理者においては、大会後の再開業に向け、スポーツ大会の誘致や都民のスポーツ体験会、周辺の公園との連携によるイベントの開催など、多くの都民にご利用いただけるよう準備を進めています。

大会後も戦略的に活用することで、スポーツ施設が東京の新たな魅力となることを目指しています。

### ＜東京アクアティクスセンター＞

日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場です。2020年2月に竣工しました。大会後には一部観客席の撤去工事等を行うため、都民等の利用開始は2023年春頃を予定しています。

国内外の主要な国際大会を開催し、水泳の裾野拡大と世界を目指すアスリートを育成します。

また、都民のための水泳場という機能も併せ持つ施設として、子供から高齢者まで、スポーツや健康増進に取り組むことができる場としていきます。



### ＜海の森水上競技場＞

アジアの水上競技の拠点となる施設です。2019年5月に竣工しました。大会後の都民等の利用開始は2022年春頃に一部利用できるよう検討中で、2023年春頃に全面再開業を予定しています。

様々な水上競技の大会開催や強化合宿等を通じてアスリートの強化、育成の場となるとともに、水上スポーツ体験の機会提供等により、水上競技の裾野を拡大することをめざします。また、ユニークベニューとしてイベント会場としても活用します。



### ＜有明アリーナ＞

東京の新たなスポーツと文化の発信拠点となる施設です。2019年12月に竣工しました。大会後の都民等の利用開始は2022年夏頃を予定しています。

国際大会など質の高いスポーツ観戦機会の提供によりスポーツムーブメントを創出するとともに、コンサート等の文化イベントも開催していきます。

開催民間事業者の創意工夫が活かせるコンセッション方式による管理運営を行い、5GやARなど最先端技術を活用したイベント等も開催します。



### ＜カヌー・スラロームセンター＞

国内初の人工スラロームコースを活用した様々な水上スポーツ・レジャーを楽しむ施設です。2019年5月にコースが完成し、12月に管理棟が完成しました。大会後の都民等の利用開始は2022年夏頃に一部利用できるよう検討中で、2023年春頃に全面再開業を予定しています。

安定した競技環境の下でアスリートを強化・育成するとともに、様々な水上スポーツや水上レジャーの機会を提供します。



### ＜大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場＞

ホッケーをはじめ、様々なスポーツで利用できる多目的競技場になります。2019年6月に竣工しました。大会後の都民等の利用開始は2022年夏頃を予定しています。

数少ない公共のホッケー競技場として、ホッケーの競技力強化と普及・振興の場となるとともに、都民が幅広く様々なスポーツを行うことができる場となります。

また、大井ふ頭中央海浜公園内の他施設と連携し、総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点を形成します。



### ＜夢の島公園アーチェリー場＞

アーチェリーを中心として、芝生広場を多様な用途に活用します。2019年2月に竣工しました。大会後の2021年10月末から都民等の利用を開始し、アーチェリーの大会等に利用されています。

アーチェリーの主要な競技大会の会場として活用するとともに、芝生広場としてイベントやレクリエーション等の多様な活用を図り、夢の島公園と一体となり都民に憩いの場を提供します。



## 3) その他

### ＜有明体操競技場＞

大会時の仮設競技会場として組織委員会が整備した施設で、2019年10月に完成しました。大規模な施設であり、大会後も十分使用可能であることから、都内にニーズが見込める展示場として、東京都が活用することとなりました。

大会後は観客席の撤去等の工事を行い、中小企業の振興に資する展示場として利用開始する予定で、既存の展示場との一体的な運用による大規模な展示会を開催することも検討しています。



### 3. 大会プロパティの活用

#### (1) 計画

- ・ 開催都市である東京都は、都内の自治体が一丸となって東京 2020 大会の招致を行い、大会開催に向けた機運醸成や準備に取り組んだことを踏まえ、都内に大会のレガシーを残す計画を立て、進めています。
- ・ 競技会場を設置した自治体（関係自治体）等は、実施した競技がその地域において未永く親しまれるとともに、大会の記憶を継承するため、大会のレガシーを残す計画を立て、進めています。

#### (2) レガシーとして残る主なもの

東京 2020 大会のレガシーとして残る主なものは、以下のとおりです。

##### 1) 大会名称

- ・ 概要

オリンピック・パラリンピックの文言を含む特定の場所・施設の名称。

- ・ 設置エリア

<有明オリンピック・パラリンピックパーク（仮称）>

有明親水海浜公園（仮称）、有明アーバンスポーツパーク（仮称）、有明アリーナ、有明体操競技場を含むエリアを予定しています。

有明アーバンスポーツパークエリアでは、大会で使用されたアーバンスポーツ施設等を活用するほか、オリンピック・パラリンピックシンボルや銘板を設置するなど、東京 2020 大会の開催を記念し、その記憶を伝える場所としていく方向です。

大会後、周辺は「有明レガシーエリア」として大会のレガシーを生かしたまちづくりを推進していくこととしており、本パークはエリアを象徴する場所となる予定です。

<武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク（仮称）>

武蔵野の森公園、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザを含むエリアを予定しています。

武蔵野の森公園内や隣接エリアにはスポーツ施設が集積しており、多摩地域のスポーツ拠点となっています。

東京 2020 大会時には多摩地域で唯一会場が集積するなど、多摩地域における東京 2020 大会開催を象徴するエリアとして、大会の記憶を後世に伝えていく予定です。



・ イメージ



<有明レガシーエリアについて>

東京 2020 大会の競技施設が集積する有明レガシーエリアで、スポーツを通じたウェルネスを実現

- 大会シンボルや大会時の仮設の都市型スポーツ施設の活用、カフェ・ショップ等を整備するなどにより、アーバンスポーツという新しいジャンルの競技が注目を集めた東京 2020 大会のレガシーを大会後に引き継いでいきます。
- エリア内の大会関連施設でのイベント開催や、民間による商業施設、ホテル、ホールなどの機能集積による相乗効果により、スポーツ・文化等によるにぎわいを創出します。



2) スペクタキュラー

- 概要
  - 大会プロパティ (大会シンボル、マスコット等) をかたどった大規模展示物。
- 設置エリア
  - オリンピックシンボル、パラリンピックシンボル
    - 有明オリンピック・パラリンピックパーク (仮称)、東京国際クルーズターミナル、TAKAO599 ミュージアム
  - 大会マスコット
    - 大会関連施設等



- ・ イメージ



オリンピックシンボル\*



パラリンピックシンボル\*



\*写真は大会期間中の様子

大会マスコット\*

### 3) 銘板

- ・ 概要

大会に関係する出来事が起きた場所で、ストーリーを後世に伝えるために設置される、エンブレム等を掲載した銘板。競技会場には、大会の開催場所であったことを示す「スタンプ」と呼ばれるプロパティを使用できる。

- ・ 設置エリア

競技会場（スタンプを含む銘板）

聖火リレー通過場所、事前キャンプ実施場所、練習会場（スタンプを含まない銘板）

- ・ イメージ



スタンプ



### 4) 聖火台

- ・ 概要

大会開催中、オリンピックスタジアム等で聖火を燃やし続ける台。

- ・ 設置エリア

式典用聖火台：国立競技場

競技期間用聖火台：シンボルプロムナード公園（石と光の広場横）

- ・ イメージ

\*写真は大会期間中の様子



©2021 Getty Images  
式典用聖火台\*



競技期間用聖火台\*

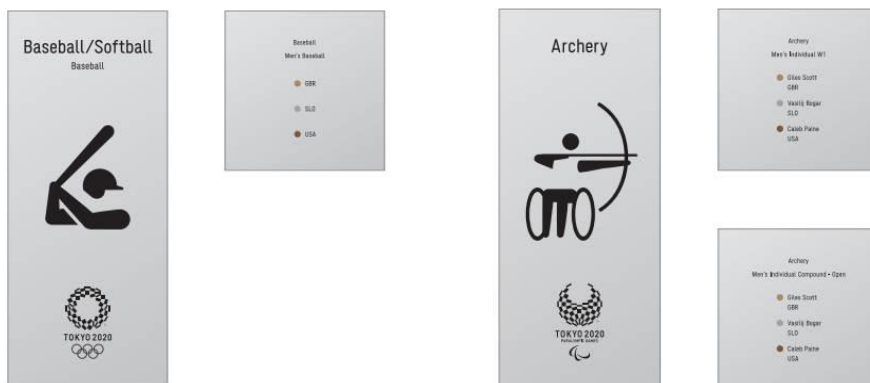
## 5) オリンピック休戦ムラール及びパラリンピックムラール

- 概要  
オリンピック休戦ムラールは、選手等が、休戦への賛同を示し、平和への祈りを込めてサインする機会を提供するために製作されたモニュメント。  
パラリンピックムラールは、選手等が、障害者の権利推進と持続可能な共生社会実現への願いを込めてサインする機会を提供するために製作されたモニュメント。
- 設置エリア  
都府施設等
- イメージ



## 6) トリビュートトゥチャンピオン

- 概要  
大会における全競技全種目のメダリストの名前、メダル種別、NOC/NPC名等を記していく銘板。
- 設置エリア  
国立競技場
- イメージ



## 7) ゴールドポスト

- ・ 概要  
金メダルを取得した選手のゆかりの自治体にあるポストの1つを金色に塗り替えたもの。
- ・ 設置エリア  
金メダリストゆかりの自治体内
- ・ イメージ



## 4. レガシー

- ・ 東京 2020 大会の競技会場が、レガシーとして活用されます。
- ・ オリンピックプロパティ及びパラリンピックプロパティを活用したレガシーが、競技会場等を中心に残される予定です。
- ・ また、競技用備品や大会準備運営用の物品、各種公表資料などの東京 2020 アーカイブ資産についても、日本国内において、保存・管理・利活用していきます。

